

定例記者会見市長挨拶

令和8年2月18日（水）午後2時
庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年は、私が平成19年1月に市長に就任してから20年目となり、5期目の総仕上げの年となります。5期目の市長選挙において掲げた「つなぐ未来へ 進化するまちづくり」のスローガンのもと、本市の輝かしい未来を見据えつつ、次世代に誇れるまちづくりに向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。

さて、現下の本市を取り巻く状況を鑑みますと、開港以来、騒音下の皆様をはじめ様々な方々のご理解とご尽力のもと、発展してまいりました成田空港ではありますが、昨年5月には滑走路の新增設に向けた本格的な工事が始まり、6月には「エアポートシティ」構想が四者協議会において合意されるとともに、新たに「成田空港第2の開港プロジェクト」が打ち出されるなど、まさに「第2の開港」とも言える大きな変革期を迎えております。

こうした中、成田空港と共に発展してきた本市にとりましても、均衡ある発展を目指す絶好の機会であると捉えており、人口増の受け皿となる開発や社会資本整備、雇用拡大のための企業誘致等、空港立地のポテンシャルを最大限に生かしたまちづくりを、関係機関と連携しながら積極的に推し進めてまいります。

次に、令和8年度の予算の編成についてであります。一般会計で

は、対前年度比1.1パーセント増の712億円、特別会計及び地方公営企業会計を加えた全体予算においても、2.4パーセント増の約1,074億円で、ともに過去最大規模の予算を編成いたしました。すべてのこどもが幸福に生活を送ることができる「こどもまんなか社会」や、お互いを思いやりかつ尊重し、多様性を認め支え合う共生社会の実現に積極的に取り組むとともに、医療、福祉、防災、減災対策のさらなる充実、脱炭素社会の実現やDXの推進など、社会的要請の高い行政課題にも的確に対応し、市民の皆様に共感していただけるまちづくりに向け、スピード感を持って各種施策に取り組んでまいります。

3月議会に提案を予定しております議案の詳細につきましては、「総務部長」並びに「財政部長」よりご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

また、本年7月から、窓口受付時間及び休日開庁日の見直しを行いますので、詳細につきましては、「総務部長」よりご説明いたします。続けて、地区計画決定手続きにおける不適正な事務処理に係る調査結果につきまして、「企画政策部長」よりご説明いたします。

以上、本日の定例記者会見にあたっての挨拶とさせていただきます。